

ルツは忠節な友

ルツ 1-4章

モアブにいたやもめのナオミは、故郷のイスラエルに帰ることにしました。息子たちの嫁だったモアブ人のルツとオルパも一緒に。



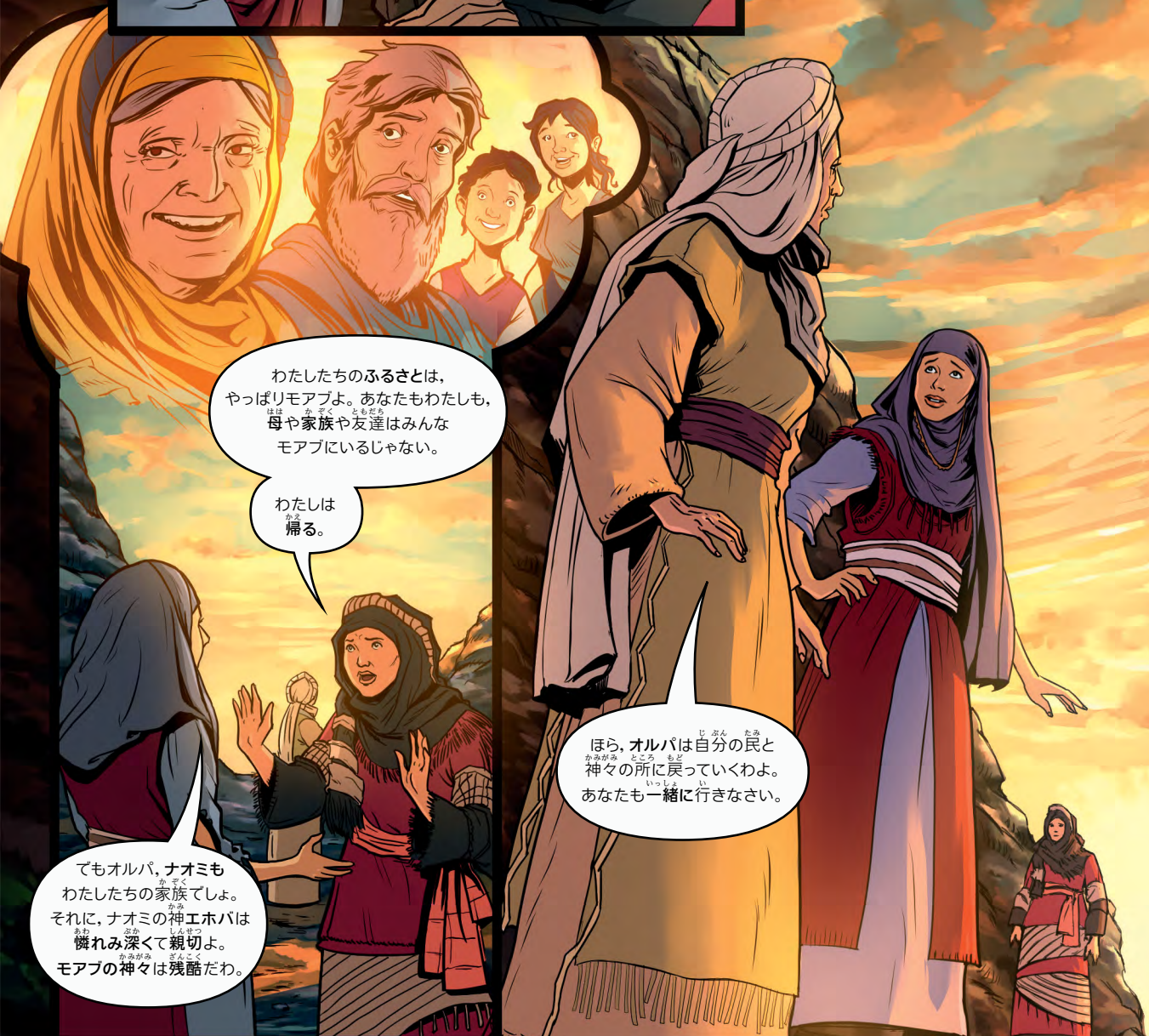
しばらく行ったところでナオミは立ち止まり、ルツとオルパに言います。

ルツ、オルパ、
あなたたちも夫を亡くしたでしょ。
自分の国モアブで新しい夫を見つけた
ほうがいいわ。2人とも実家のお母さんのところへ帰りなさい。





はな
離れたくないけど、
ナオミの言う通りよ、
ルツ。

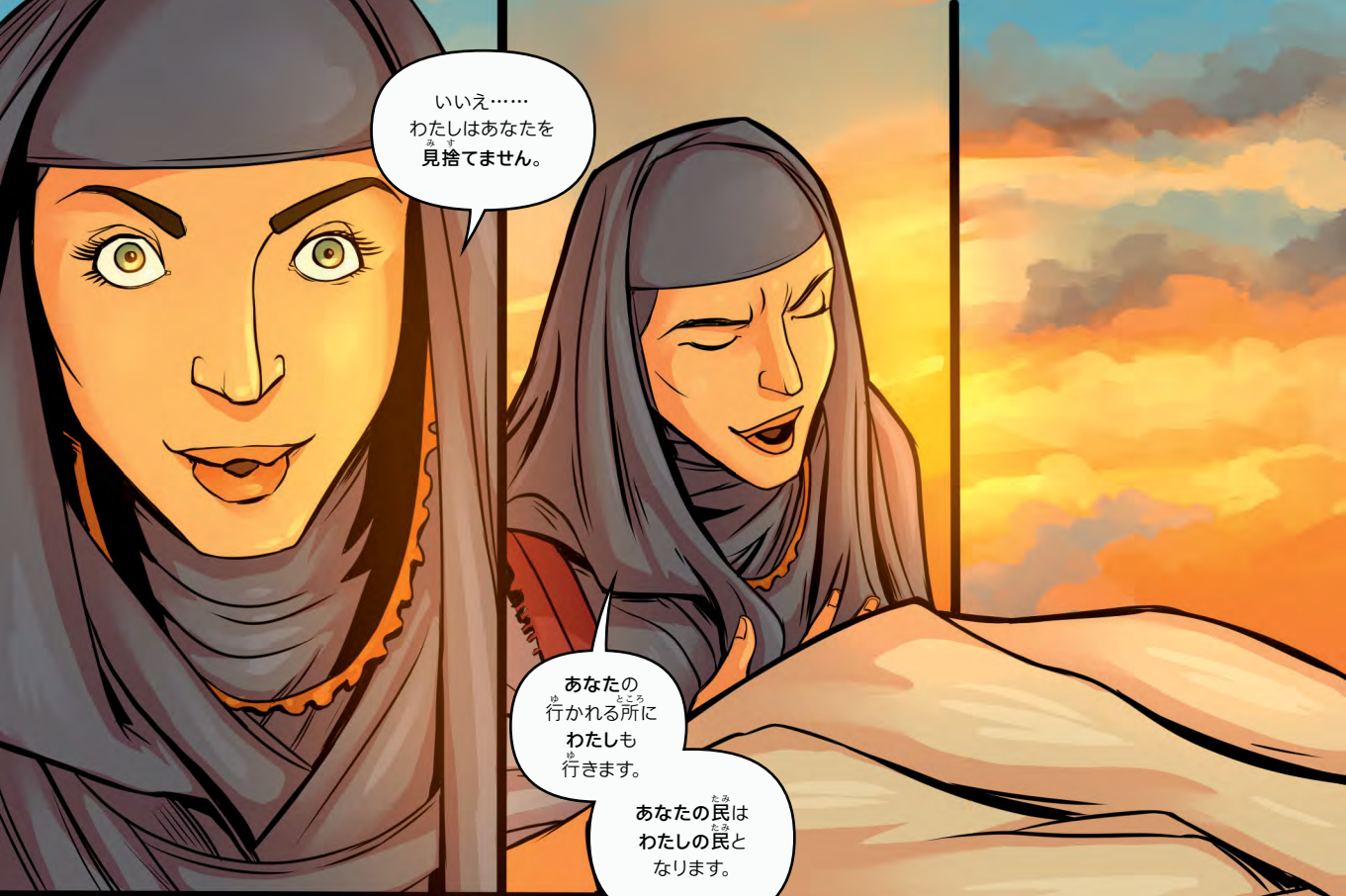


わたしたちのふるさと、
やっぱりモアブよ。あなたもわたしも、
母や家族や友達はみんな
モアブにいるじゃない。

わたしは
帰る。

ほら、オルバは自分の民と
神々の所に戻っていくわよ。
あなたも一緒に行きなさい。

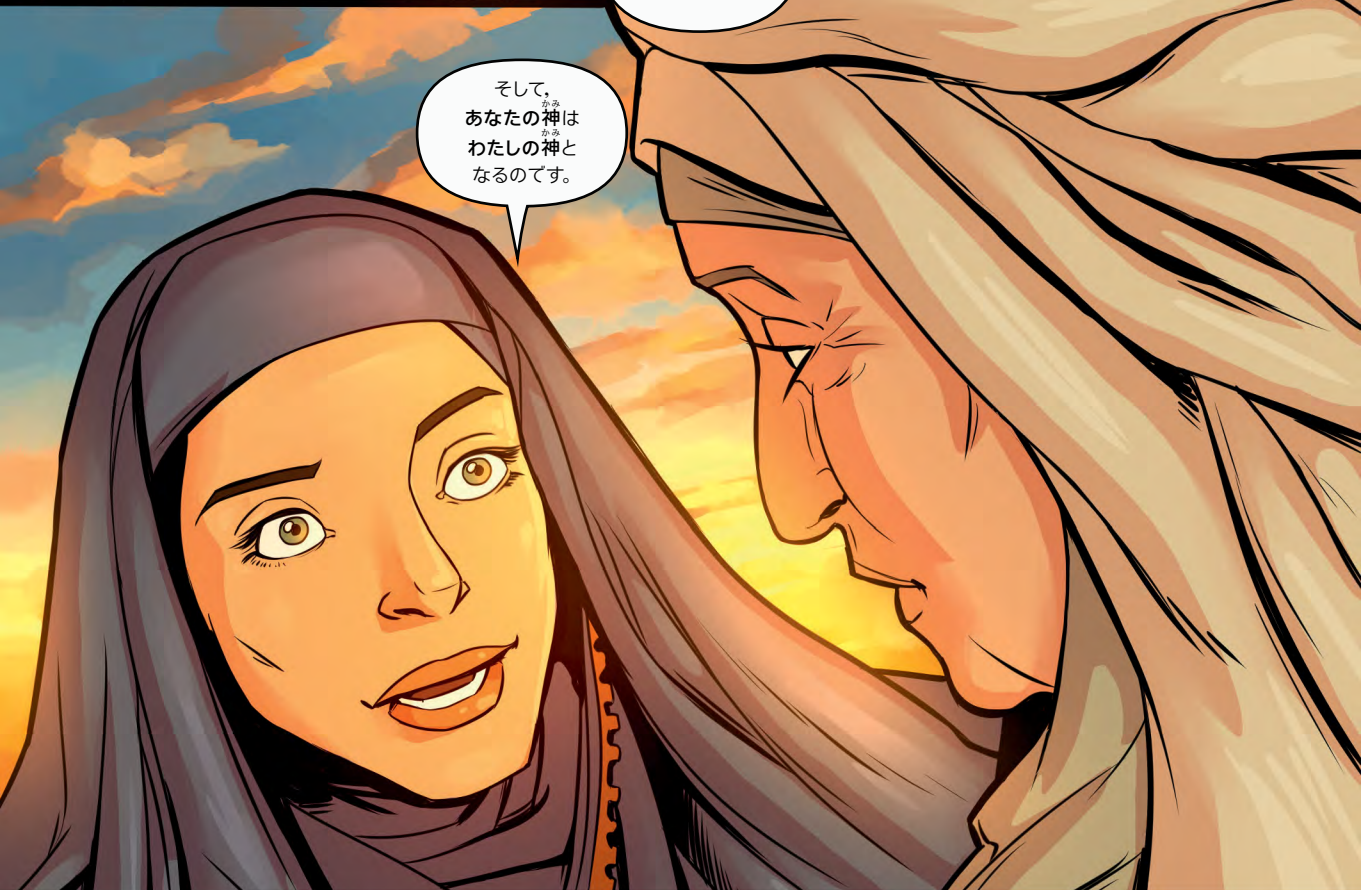
でもオルバ、ナオミも
わたしたちの家族でしょ。
それに、ナオミの神エホバは
憐れみ深くて親切よ。
モアブの神々は残酷だわ。



いいえ……
わたしはあなたを
見捨てません。

あなたの
行かれる所に
わたしも
行きます。

あなたの民は
わたしの民と
なります。



そして、
あなたの神は
わたしの神と
なるのです。

ふたり
2人はイスラエルに着きました。ルツは落^おち穂^ぼ拾^{ひろ}いを
して、自分とナオミのために食べる物を集めました。
そこはボアズという人の畑でした。

わか おんな ひと
あの若い女^{おんな}の人は
だれかね？

ナオミと一^{いっ}緒^{しょ}に
モアブから帰^{かえ}って来^きた人^{ひと}です。
朝^{あさ}からず^すと立^たち通^{とほ}して
働^{はたら}いています。

ルツ、エホバの祝^{しゅく}福^{ふく}が
ありますように。この都^{とし}市^しの
人^{ひと}はみな、あなた^{あなた}が
優^{すぐ}れた女^{おんな}性^{せい}だと知^しっています。

ボアズはルツと結^{けっ}婚^{こん}し、オベデという名^なの息^う子^{すこ}が生ま^うれま^うりました。
オベデの孫^{まご}は、有^も名^ななイスラエルの王^{おう}になりました。だれのことか
わかりますか。(ルツ 4:22を讀^よみま^しょう。)

この話^{はなし}から何^{なに}を学^{まな}べますか

ルツはナオミに忠^{ちゅう}節^{せつ}な愛^{あい}をど^どのよう^{よう}に示^{しめ}しましたか。
ヒント: ルツ 1:14, 16, 17; 2:11, 12。

エホバはルツとナオミに忠^{ちゅう}節^{せつ}な愛^{あい}をど^どのよう^{よう}に示^{しめ}しましたか。

ヒント: ルツ 4:13-15。

あなたは友^{とも}達^{だち}に忠^{ちゅう}節^{せつ}な愛^{あい}をど^どのよう^{よう}に示^{しめ}せますか。

ヒント: 箴^{しん}言^{げん} 17:17; 18:24。